

令和4年度 第1回
奈良市社会教育委員会議
会議録

令和4年7月28日会議

令和4年度 第1回奈良市社会教育委員会会議 会議録			
開催日時	令和4年 7月28日(木) 午前10時から午後12時まで		
開催場所	はぐくみセンター 8階 多目的講座室		
出席者	委員	岡田 _和 委員、岡田 _龍 委員、奥田委員、 加藤委員、北出委員、艸香委員、 小北委員、【計7人出席】 (奥村委員、川野委員、中村委員は欠席)	
	事務局	教育長、教育部次長、地域教育課長、地域教育課 課長補佐、 生涯学習財団事務局長(教育部長は欠席)	
開催形態	公開(傍聴人無し)	担当課	教育部 地域教育課
議題 又は 案件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正・副議長の選出について 2. 令和4年度補助金交付社会教育関係団体について 3. 令和3年度社会教育委員事業実績について 4. 令和4年度社会教育委員事業計画について 5. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業報告について 6. その他 		
決定又は 取り纏め 事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正・副議長の決定 2. 令和4年度補助金交付社会教育団体の承認 3. 奈良市社会教育推進計画の点検・評価のグループ活動について、今年度新たなメンバーで実施することに協力いただけることを確認した。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>(1) 正・副議長の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正議長に奥田委員が指名され、承認された。 ・副議長に、岡田(龍)委員、小北委員が指名され、承認された。 <p>(2) ①令和4年度補助金交付社会教育関係団体について【資料1】</p>			

- ・補助金交付の承認にあたり、関連団体に所属する委員については一時退席の対応をした上、各団体及び事業概要の説明を行った。
- ・社会教育に関する事業を主たる目的とする社会教育団体「奈良市PTA連合会」「奈良市子ども会育成連絡協議会」「一般社団法人ガールスカウト奈良県連盟奈良市協議会」「ボーイスカウトわかくさ地区協議会」及び「奈良ユネスコ協会」の5団体に対する運営補助及び「第18回日本スカウトジャンボリー（第19回奈良県キャンプリー）参加事業」の1つの事業補助の合計6つの補助金交付を予定している。

【委員からの意見・質問等】

- ・「第18回日本スカウトジャンボリー（第19回奈良県キャンプリー）参加事業」について4年前の補助金額は120万円であるが、今年度は30万円と下がった理由は何か。

→日本スカウトジャンボリーの事業は本来なら日本全国のスカウトが一同に会する大会であるが、コロナ禍のため県単位での規模を縮小した開催となったためこの金額となった。

<補助金交付について承認された>

②令和3年度社会教育委員事業実績について【資料2】

- ・資料のとおりであることを説明した。

<特に意見なし>

③令和4年度社会教育委員事業計画について【資料3】

- ・各種大会の詳細な通知が届き次第、委員の方々に案内することを説明した。

【委員からの意見・質問等】

- ・奈良県大会は地元開催のためお手伝いという形で参加されたいという希望があった。

(3) 奈良市社会教育推進計画に基づく事業報告について

【委員からの意見・質問等】

- ・資料4で青少年野外体験施設の運営管理事業の中で、黒髪山キャンプフィールドがコロナ禍でありながら前年度より使用者が約600名増加しているにもかかわらず、自然環境の中での体験活動の機会を提供するという項目がD評価であるのはなぜか

→黒髪山キャンプフィールドについては社会的なニーズもふまえ今後さらに改善していく必要があると思われるため少し厳しいD評価とした。

- ・資料5について、地域で決める学校予算事業についての回答をいただいているが、実態が回答に即していないと感じる。この事業は学校と地域が一緒になって子供たちをささえる形を作ってはいるが、地域にとってここに関わることの必要性が

理解されていないと感じている。同じような事業をしているが、子ども達にとってどんなふうに役立っているのか疑問に感じている。

コーディネーターの研修がもっと必要なのか、行政が地域教育協議会にこうあるべきという道を示して頂くか、地域の中で地域の中のやりがいを見つけられるようなもの示して頂ける何かが必要じゃないかと思う。

→地域で決める学校予算事業は他の自治体より早くから取組んでいるため事業に関わる方々も経験を積み重ねている。ただその分地域としても担い手不足や事業のマンネリ化、地域によって異なる事情を抱えている等の課題を認識しており、担当課としても課題意識を持っている。今年度は可能な限り、各担当が現場に赴き地域の声を聴いている。地域の声を聴き、試行錯誤して考えながら地域と共に答えを見つけたい。

- ・地域で決める学校予算事業について中心に活動されているのはコーディネーターと言われる人たちである。奈良市はコーディネーター研修に関しては、比較的多く実施する自治体である。その研修の中でなぜ地域住民が地域学校協働活動に参加しないといけないのかをお話させていただいた。「いろんな方が学校と関わることで地域づくりをしていく。地域の方にも還元されていく。」とお話させていただいた。事業が始まってから13年ほどたち、やり方が確定してきたからルーティンワークのようにエネルギーをかけずに事業ができるという面もある。一方でマンネリ化しているという課題に関しては、新たなステージに向かって改善していかないといけないところもあるだろうと思う。
- ・地域の人が行動することによって地域の人に還ってくるものがあるような活動ができているところはある。それが実際、本当にただ単に子供たちのために何かしらしているだけで終わってしまっている。そして携わっている人はいつも同じ人、結局それが地域に全然広がっていかないという現状だと思う。
- ・富雄中学校で地域が決める予算事業が始まった時から、コーディネーターをやっている。事業については同じような事業を進めていく場合もあるが、地域の方が学校に入って来て何か還元されている事例もある。例えば学習支援や環境整備の活動をしていただいた。コーディネーターが学校と相談させて頂き、学校の方で要望があればそれに対してボランティアを募るということを毎年行っている。ボランティアもお友達を誘ってきてというように地域に広がっている。ボランティアは誇りをもって子供たちとの関わりを楽しみにしている。自分たちの活動は地域のためになると頑張ってくれていると感じている。
- ・携わっている方は意識をもって関わることは楽しいという方もおられるが、それだけで地域に広がっていくのかというのは非常に見えにくいし、このままやったらどんどん衰退していくのではないかという思いがある。広がるために何かが必要じゃないかと思う。それは地域差もあるのかもしれない。

- ・公民館事業も地域のボランティアを募集している。ボランティアの交流が生まれて地域が育っていると感じる。公民館事業は歴史が深いが、地域が決める学校の予算が始まって時がそんなにたっていない。これから育てていって欲しいと思う。
- ・事業が始まって13年ほどたち、小学生のころ地域の人がたくさん来て、地域の人と一緒に活動しましたという子が大学生になっている。そういう子供には何らかの形で地域の人と学校で活動したという体験が残っている。大人になって大学に行って高校卒業して奈良県の外に出たけれど奈良でのいい思い出を思い出して、仕事、結婚してまた戻ってこようという人が1人でも増えてくれたら多少の効果はあると思う。続けていくことが必要と思う。
- ・地域で決める学校予算事業・放課後子供教室推進事業とコミュニティ・スクール、学校運営協議会が一体となって、動いているはずだが、奈良市の学校運営協議会の推進を主管しているのは地域教育課か
→地域教育課である。
- ・コミュニティ・スクール・学校運営協議会というのは事業としてあがってこないのは事業ではないからか。コミュニティ・スクールは学校の中の運営組織、だから社会教育の推進計画の上では載ってこないとすれば、学校運営協議会・コミュニティー・スクールはどこで評価されているのか。評価する場はあるのか。
→評価の場はない
→学校運営協議会・コミュニティー・スクールについてもこの会議で議論すればよいと思う。
- ・本来はコミュニティ・スクールで考え出したものを地域で決める学校予算事業や地域教育協議会の活動にしていくことが仕組みとしては正しいはずだが、学校運営協議会と地域で決める学校予算事業が結びついていないという実態があると思う。
- ・必要なのはコミュニティ・スクール、学校運営協議会の中でもっとその子供たちにとって何が必要なかを話し合っ、地域で決める学校予算事業に還ってくるような仕組みに正すという正しいあり方に来るような仕組みが必要かと思っていて、そういう意味ではコミュニティ・スクールそれ自体を評価の対象にあげていかないと進まないかと思う。
- ・コロナ禍でコミュニティ・スクールが出来たばかりなのに活動できなかったのが今後を見ていきたいと感じる。

(4) 令和5年奈良市二十歳を祝う会の基本方針について

- ・資料のとおりであることを説明した。

<p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良市社会教育推進計画事業評価シートの点検・評価を継続して実施するためのグループ活動を、社会教育委員からメンバーを募った上でご協力いただきたいことを説明した。 ・メンバーについては、前期からリーダーとして活躍いただいている川野委員に入っ ていただく予定でいる。 <p>→他のメンバー候補等については、事務局と連絡をとりながら進める。</p> <p>【委員からの意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校のクラブ活動について地域のクラブチーム等の地域に任せていくと聞いたが 方向性は決まっているのか？ <p>→学校教育課の案件の為、詳細はお伝えできない。各部局からの正式な通知はないが 必要なことを準備していこうと思っている。子ども達の機会を保証しながら方法を 模索し、各地域の受け皿等の準備が整い、方針が明確になれば学校を通じて伝えて いく。</p>	
資 料	<p>【資料1】 令和4年度補助金交付社会教育団体一覧</p> <p>【資料2】 令和3年度社会教育委員事業実績</p> <p>【資料3】 令和4年度教育委員事業計画</p> <p>【資料4】 奈良市社会教育推進計画に基づく事業報告</p> <p>【資料5】 令和3年度事業に係る事業評価シートに対する質問表</p> <p>【資料6】 令和5年奈良市二十歳を祝う会の基本方針</p>